

平成23年度事業計画

財団法人秋田県体育協会

◆ 重点目標

「スポーツ立県あきた」宣言が、スポーツ秋田の再建とスポーツによる県勢発展につながるよう、県民に対するスポーツ振興の担い手としての役割と責任を自覚し、新たな視点から次のとおり各スポーツ振興事業の企画・推進に主体的に取り組む。

◆ 推進事業

1 競技スポーツ振興事業

- (1) 県競技力向上対策事業（県より事業受託）
 - ア 指導体制の確立
 - イ 選手の育成強化
 - ウ 諸条件の整備・充実
 - エ スポーツ医科学の活用
- (2) 加盟競技団体のガバナンス確立の支援・指導
- (3) 東北総体、国体等への選手団派遣
 - ア 第38回東北総合体育大会（宮城県）
 - イ 第66回国民体育大会本大会（山口県）
 - ウ 第67回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会（岐阜県・愛知県）
 - エ 第67回国民体育大会スキー競技会（岐阜県）
- (4) 第62回県民体育大会の開催（41競技）

2 生涯スポーツ振興事業

- (1) 総合型地域スポーツクラブの普及及び創設並びに活動支援
 - ア 創設支援、自立支援クラブ現地ヒアリング
 - イ 総合型クラブ連絡協議会、運営委員会の開催
 - ウ 総合型クラブ各地区スポーツクラブ交流会の開催
 - エ 第2回全県総合型スポーツクラブ交流大会の開催
 - オ アシスタントマネージャー養成講習会の開催
 - カ 住民総参加型「チャレンジデー」の開催支援及び普及
- (3) 全県指導者研究協議会
- (4) 日本スポーツマスターズへの選手団の派遣（石川県）
水泳・サッカー・テニス・バレーボール・バスケットボール・自転車競技・軟式野球
ソフトテニス・ソフトボール・バドミントン・空手道・ゴルフ・ボウリング（13競技）
- (5) スポーツ少年団の活動推進事業
 - ア 県内交流大会
 - ・第48回秋田県スポーツ少年大会（由利本荘市）
 - ・第34回秋田県スポーツ少年団大会（各地9種目）
サッカー・柔道・軟式野球・バレーボール・水泳・ラグビー・卓球・スキー
ミニバスケットボール
 - イ 東北交流大会
 - ・第42回東北ブロックスポーツ少年大会（山形県）
 - ・東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（4種目）
サッカー・軟式野球・柔道・ミニバスケットボール
 - ウ 日独スポーツ交流事業（受け入れ：北秋田市）
 - エ 日韓青少年冬季スポーツ交流事業（視察員 韓国派遣・新潟受入）

3 障害者スポーツ振興事業

- (1) 障害者スポーツ大会への協力
- (2) 障害者スポーツ関係団体の連携協力

4 講習会・研修会等の開催

- (1) 日本体育協会公認指導員・上級指導員養成講習会
- (2) スポーツ指導者研修会「スポーツ障害防止事業」
- (3) スポーツ少年団認定員養成講習会
- (4) スポーツ少年団認定育成員研修会・再研修
- (5) スポーツ少年団認定員再研修会

5 広報事業

- (1) 機関誌「スポーツ秋田」(年3回 各2,000部)
- (2) 「スポーツ行事予定」(年1回 3,000部)
- (3) 「スポーツ少年秋田」(年2回 各2,800部)
- (4) 県体育協会ホームページによる情報発信

6 顕彰事業

- (1) 秋田県スポーツ賞
- (2) 人見スポーツ賞
- (3) 畠沢国体賞
- (4) 辻ジュニアスポーツ大賞

7 人見スポーツ傷害基金事業

- (1) 傷害防止対策事業
- (2) 死亡弔慰金の給付
- (3) スポーツ障害者に対するカウンセリング

8 財政基盤の確立

- (1) 賛助会員の募集
- (2) 寄付金の募集
- (3) スポーツ活動支援事業(自動販売機事業)

9 公益財団法人への移行の認定申請

平成23年度前半までに移行の認定申請を行うこととする。本会内に引き続き「公益法人移行に向けた検討小委員会」を設置し、公益財団法人への移行の認定申請の準備に取り組み、平成24年4月からの認可を目指す。